

インパクトファイナンス人材ニーズアンケートを実施

インパクト志向金融宣言は、主に署名金融機関に所属する 86 名を対象としてインパクトファイナンスの人材育成ニーズを問うアンケートを 2025 年 9～10 月に実施し、主な結果は以下の通りとなりました。アンケート結果全体はこちらのリンクをご覧ください。

① インパクトファイナンスの推進上の取組・課題

- ・ 約 5 割の回答者が「人員・経験者不足」を課題として挙げており最も多かった。尚、「インパクトファイナンスの専門組織又は類する組織を社内に設置している」との回答は全体の約 5 割あったものの、そのうち約 4 割が「人員・経験者不足」を課題として挙げており、専門組織内外でのさらなる育成強化に対する課題意識が大きいと推察される。
- ・ 「社内の関心・理解不足」「リターンが低い・儲けが少ないとの認識がある」がいずれも約 3 割で続いている。

② インパクトファイナンスの人材育成上の取組・課題

- ・ 「インパクトファイナンスの研修を社内で提供できる人員が数の面で不足」「インパクトファイナンスの研修を社内で提供できる人員が能力の面で不足」との課題意識を持つ回答が最多で、それぞれ約 4 割。
- ・ インパクトファイナンスに関する理解や知見が不足していると感じる役職・部署については、「経営層」と「一般社員(法人営業を担う組織)」が多く、それぞれ約 4 割。
- ・ 一方、約 4 割が「社外研修を活用」と回答しており、社外研修が現時点の主な育成手段であることがうかがえる。

③ 人材育成の研修内容に関するニーズ(インパクト志向金融宣言への期待)

- ・ 約 6 割が「インパクトファイナンスに関する基礎講座(時代背景、基本的な考え方、原則・ガイドライン・フレームワークなど)」と回答し、最多。
- ・ 次いで、「国内／海外の好事例の紹介」を求める回答が多く、約 5 割。
- ・ 尚、上記のような IDFI からの研修提供については、約 7 割が「ある程度期待している(会費とは別に払いたくない)」と回答。

以 上